

## 輸出事業計画

※申請者名：有限会社 森田醤油店 品目：醤油・醤油加工品

### 1. 輸出における現状と課題

島根県の高齢化率は、34.7%で全国でも7位と高く、弊社が所在する奥出雲町も人口11,021人で高齢化率44.1%(県内5位)と高齢化が進んでいる。

2000年に1人当たり2.8ℓ/人あった醤油の消費量が、核家族化・食生活の多様化・健康志向などから2018年には1.4ℓ/人まで減少している。

このような状況を打破するために、2010年から海外向け国内商談会に積極的に参加し、アメリカ、フランス、台湾、オーストラリアなどへ商社を通じて輸出が動き始めた。

現在、進めているアメリカ向けの商談は、商談取引量・額ともに大きく、それらに伴い取引先の求める認証+ $\alpha$ (品質、数量など)で基準を満たしていることが取引要件として重要である。

### 2. 輸出事業計画の取組内容

#### ①原料調達・生産・製造

自然災害による不測の事態が発生した場合に、原料確保ができない、原料が不足するといった状況にならない様に、新たな契約栽培先を確保していく。

海外バイヤーが求める「木桶で醸造する醤油」について、年間を通じて安定した供給量やOEM対応が出来る体制を構築する。

#### ②加工

米国HACCP認証に準ずる衛生基準・作業動線・作業工程の見直しを専門家の助言を取り入れ、順次改善を行う。

#### ③流通

輸送コストの削減・合理化を図る。国内輸送においては、共同配送便や指定港へ配送可能なルート便を開拓し、輸送コスト削減を行う。

#### ④販売

海外で取扱われている一般的な醤油を製造する他社製品と、木桶で醸造する弊社の醤油では、独特の旨味やコク・香りが異なることを伝え、木桶醤油と一般的な醤油との差別化を図る。

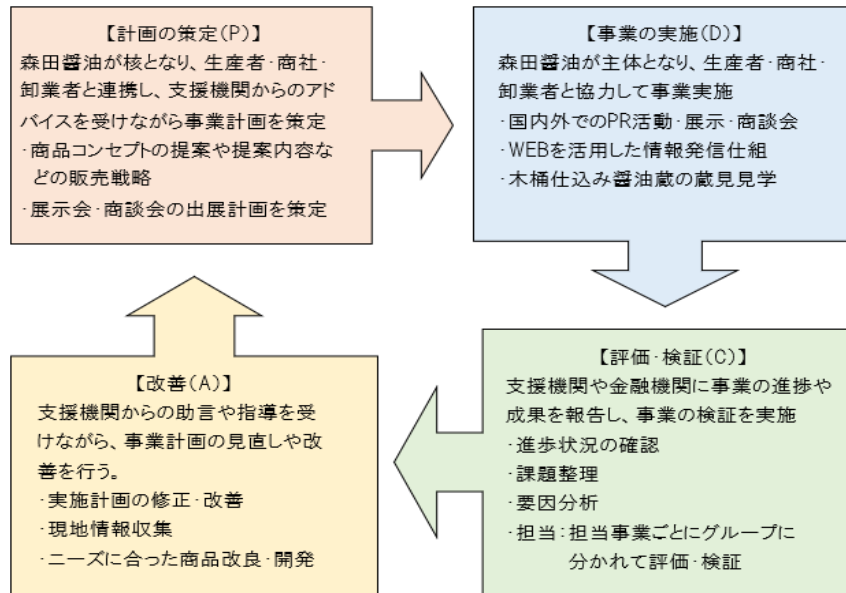
商品にQRコードを添付し、自社サイトへ誘導し、木桶で仕込む様子や日本の食文化を動画にて情報発信し、オーガニックファンの獲得を行う。

日常使い出来る「使いやすさ」に焦点を当て、海外の方が弊社商品に馴染めるよう、日常で食べている様々なものにかけてたり・調理のハードルを低くする提案を行う。

## 輸出事業計画

※申請者名：有限会社 森田醤油店 品目：醤油・醤油加工品

## 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



## 4. 輸出目標額

(品目：醤油)	現状（令和6年度）	目標年（令和12年度）
輸出額（千円）	1,568	5,000
輸出量（L）	896	2,857
輸出先国	フランス・オーストラリア	アメリカ・EU・イギリス・スイス・台湾・オーストラリア・中国・シンガポール・中東
生産量（L）	221,780	225,000

(品目：醤油加工品)	現状（令和6年度）	目標年（令和12年度）
輸出額（千円）	6,919	10,000
輸出量（L）	3,439	4,970
輸出先国	アメリカ・台湾	アメリカ・EU・イギリス・スイス・台湾・オーストラリア・中国・シンガポール・中東
生産量（L）	38,520	40,000